

## 令和6年度 社会福祉法人御蔵島社会福祉協議会 事業計画

### 御蔵島社会福祉協議会経営理念

私たち御蔵島社会福祉協議会は、厳しい自然環境にある島の歴史・風土の下で生活している村民が支え合い、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。その推進に当たっては、枠組みにとらわれず柔軟に対応し、地域に根ざした事業所の実現を目指します。

### 御蔵島社会福祉協議会経営方針

#### 1 経営の安定

村民に安定したサービス提供を図るため、組織の基盤づくりに全力を注ぎます。

#### 2 地域との連携

村民のニーズを把握するため職員が自ら足を運び話しやすい関係を築きます。

#### 3 人材育成

村民のニーズに柔軟に対応するため、限られた社会資源を活用できるよう職員のスキルアップに努めます。

※ 新型コロナウイルス感染症の流行も収まりつつあり、今後は以前のように活動できる機会が増えてきそうです。しかし、引き続き国や都や村の方針に沿った形で利用者、職員、その他関係者の予防を徹底し、感染させない、広げない環境づくりに励みます。

#### 1 法人運営事業

##### ア 会員募集

コロナ禍において会員募集は自粛しており、今後は再検討する。

##### イ 送迎サービス事業

宣伝活動を強化し、より幅広い年齢層の利用者拡大を目指す。

##### ウ おむつ費用助成事業

必要な方の情報収集し、利用を促す。

##### エ ボランティア団体等助成事業

ボランティア活動をより活発なものにするための支援を行っていく。

##### オ 福祉用具貸出事業

宣伝強化を図り、利用者拡大に努めるとともに、用具の見直しを図りたい。

##### カ 宣伝普及事業

みくらじま社協だよりの定期発行を維持。HPによる情報公開も図る。

##### キ 御蔵島村敬老祝賀会受託事業

村と協議し実施をする予定。内容未定。9月29日実施予定。

##### ク 福祉サービス利用援助事業

「権利擁護事業」「生活福祉資金貸付事業」についての周知を図る。

- ケ 共同募金運動受託事業  
赤い羽根の共同募金、歳末たすけあい運動を実施。
- コ 社協行事について  
実施未定。啓発活動と合わせての模索。
- サ 人材育成  
正規職員確保に努める。ネット講座を使った介護技術等研修も行う。  
事務局長の交代もあり、より体制の強化を図る。
- シ 島しょ社協連絡協議会への参加  
役員が島嶼地区独特の地域福祉向上のために参加をする。  
令和6年度は三宅島での開催予定。
- ス 敬老お祝い弁当  
例年どおり65歳以上に配布する。配布時期は敬老の日前後で調整する。管理栄養士を招聘し弁当制作の協力、調理衛生指導も行う予定。

## 2 御蔵島村福祉保健センター仲里

- ア 高齢者生きがいデイサービス事業  
利用者の拡大、サービス向上を図る。感染予防を徹底する。
- イ 通所入浴事業  
より効率的なサービス提供を検討、実施をする。
- ウ 訪問介護事業、介護予防訪問介護事業  
実施の検討、ホームヘルプサービスや独自のサービスとの住み分けを検討。
- エ 相談事業  
保健師による、幅広い相談窓口の充実化を図る。
- オ 機能訓練事業  
理学療法士を中心に定期的な、より専門性の高いサービスを行う。
- カ 配食サービス事業  
必要な方へ配食、可能な限り地産地消の配食をめざす。
- キ 福祉保健センター管理運営事業  
一般の方の利用も徐々に検討していく。放課後健全育成事業は引き続き実施し、実情を踏まえて事業を実施していく。
- ク 職場体験、施設見学等の受入  
御蔵島中学校で実施している職場体験の協力を行う。その他についてはコロナの状況を勘案して検討する。
- ケ 介護予防体操教室  
高齢者予備軍の参加も検討し、理学療法士の介護予防教室を実施。
- コ 福祉啓発事業  
福祉の啓発に必要な事業を行う。行事も含め新たな形として今後検討していく。